

鳥取県協働提案・連携推進事業補助金(書類審査) 審査表(1)

番号	申請団体	事業名	事業内容	金額		個別評価							コメント等	
				事業費総額	補助申請額	1.県と協働・連携して取り組む必要性(効果性)	2.発展性・モデル性	3.テーマ・地域性	4.公益性	5.先駆性	6.継続性	合計		
						5点×2	5点×2	5点	5点	5点	5点	5点	40点満点	
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														

項目	視点
1 県と協働・連携して取り組む必要性(効果性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 県と民間が協働して事業を行うことで、各々が単独で行うよりも効果が高まると認められる内容であるか。</li> <li>◆ 県と民間の役割分担について、県に求める内容が明確になっており、相乗効果が期待できる内容であるか。(県がもっているノウハウ、知恵などをもとめているか)</li> </ul>
2 発展性・モデル性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 計画の実施段階で、他分野多方面に効果が及ぶと見込まれるか。</li> <li>◆ 他の協働・連携事業のモデルとなると認められる内容であるか。</li> </ul>
3 テーマ・地域性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ テーマが具体的な県政の課題に対応した内容であるか。</li> <li>◆ 地域の実情や住民のニーズに即した内容であるか。</li> <li>◆ 地域資源や地域の魅力を活用した内容であるか。</li> </ul>
4 公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域社会に貢献する内容であるか。(特定のものだけではなく、不特定多数の人々の利益に繋がる事業であるか。)</li> <li>◆ 地域社会・住民によって必要性、重要性が高い内容であるか。</li> </ul>
5 先駆性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ これまでにない新しい視点を持った事業か。</li> <li>◆ 課題解決の手法として先進性、先駆性があり、今後の協働事業のモデルとなり得るか。</li> </ul>
6 継続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本補助金が終了後に、継続、発展可能な事業であるか。</li> <li>◆ 継続的に事業を実施することが可能な組織であるか。</li> </ul>

【点数基準】

- ◆ よくできている 5点
- ◆ まあまあできている 4点
- ◆ 普通 3点
- ◆ あまりできていない 2点
- ◆ できていない 1点

※県の担当課から提出された意見も参考にして採点する。